

小4 国語

【大項目】	【小項目】	【小単元名】
文章の読み方	物語文の読み方①	場面とは何か
		自分がそこにいるつもりで想像する
	物語文の読み方②	場面の変わるところをつかむ
		どんな人が登場するか読み取る
	物語文の読み方③	人物の行動をたどって読む
		人物の会話や行動から心の変化を読み取る
	説明文の読み方①	会話やできごとから人物の関係をつかむ
		ヤマ場での主人公の行動を読み取る
	説明文の読み方②	場面になさわしいくみな表現をつかむ
		組み立てを考える(構成)
	説明文の読み方③	何について書いているかつかむ(話題)
		どんな順じよでかいているかつかむ(段落)
	詩「詩を楽しもう」	こそあどことばに注意する
		つなぎことばに注意する
詩「表現のくふう①」	どんなことをあげて説明しているか読み取る	
	わかりやすい説明にするためのくふうを読み取る	
詩「表現のくふう②」	説明の中心になることがらをつかむ(要点)	
	詩のくふうを味わう(ひゆ)	
詩「表現のくふう③」	表現のくふうを味わう(ぎじん法)	
	表現のくふうを味わう(体言止め)	
詩「まとめ」	表現のくふうを味わう(とうち法)	
	表現のくふうを味わう(くりかえし)	
漢字とことば	部首	作者がどんなことに感動して書いた詩か読み取る
		主な部首
	音読みと訓読み	部首の見分け方
		音読みと訓読みの漢字
	まちがいがやすい漢字	訓読みの漢字
		読み方
	こそあどことば	書き方
		こそあどことば
	国語辞典の使い方	指す内容のとらえ方
		五十音図
	慣用句	言いきりの形(形が変わることば)
		ことばの意味の選び方
	文の組み立て	慣用句のはたらき
		体に関する慣用句
ローマ字	意味の調べ方と使い方	
	主語と述語	
作文の書き方	げんこう用紙の書き方	修飾語
		ローマ字
	符号の意味	題・学年・名前の書き方
		段落分け、符号の書き方
	段落の分け方	句点と読点
		かっこの種類と使い方
	短文作り	その他の符号
		形式段落と意味段落
	感想文	題が決まっている短文作り
		あたえられたことばを使う短文作り
	作文	本を読んだ感想(読書感想文)
		見学したこと(見学記)
	作文の書き方①	実験や観察の報告(報告文)
		題をあたえられた作文(課題文)
作文の書き方②	自分で題を決める作文(自由作文)	
	自分の意見を書く作文(意見文)	
作文の書き方③	進んで書く	
	書くことの意味	
作文の書き方④	よい文章	
	目的を決める	
作文の書き方⑤	主題を決める	
	組み立てを考える	
作文の書き方⑥	表し方考える	
	場面がわかるように書く	
作文の書き方⑦	事実と意見、感想を分けて書く	
	よくわかる文章を書く	
作文の書き方⑧	ことばを選んで使う	
	文章やことば、符号をなおす	